

地域ぐるみで児童見守る

重点地区 パトロール

開北小で通学路確認

地域ぐるみで子どもを見守る重点地区パトロールが9日、石巻市立開北小学校（鹿野宏美校長・298人）で行われた。教職員や地域住民は、通学路や交通状況に危険箇所がないか確認しながら付き添った。児童にとっては本年度初めての集団下校。学年間の連携を強め、安全な登下校への意識を高めた。

不審者が出たことを想定した訓練。地域の方へのあいさつも忘れ

ず、上級生は下級生をリードして安全に下校してほしい」とあいさつした。布施座長は「交
通ルールを守って気を付けて家に帰ろう」と呼び掛けた。
児童らは居住地域ごと6班に分かれて帰宅。パトロールの参加者も一緒に歩き、通学路の安全を確認していた。【泉野帆薫】



石巻市不審者対策ネットワーク会議（布施正俊座長）や市、市教育委員会が主催。不審者、変質者による児童生徒への被害を防ぐため、地域の協力のもと市内の小学校区32校でパトロールをしている。年4回実施し、本年度初回にあたる今回は4月中旬から5月下旬にかけて順次行う。

今回重点地区に選出された開北小では、同会議や市の関係者、地元企業、町内会、PTA、教職員ら計約80人が協力し、パトロールした。

集団下校の前に鹿野校長は「今日は近隣に

女川中春のまるご屋

高校生が学習サポート

後輩のよきアドバイ

女川中学校の自習サポート「春のまるご屋」が先日、まちなか交流館で行われた。希望者延べ60人が参加して前年度の復習を中心に学習を進めた。

た。自分だけでも教え、とは難しい、私にとつ機会となった。

震災後に始まった「まるご屋」は、旧女川一中の校舎があるま
るこ山にちなんだ愛
称。今回も日頃から同
校生徒の学習支援にあ

向学館のんは「昨夏冬からは意い存在と、向学館を単たちが戻

阿部真生さん（石巻好文館高）は「学習の進み方は一人一人違

た。自分だけでも教え、とは難しい、私にとつ機会となった。

阿部真生さん（石巻好文館高）は「学習の進み方は一人一人違

た。自分だけでも教え、とは難しい、私にとつ機会となった。